

令和5年度外務省官民連携推進事業（農林水産物・食品輸出促進アドバイザー）  
ベトナム食品の市場・消費者動向、輸入状況、パートナー候補プロフィール  
**月次レポート（2023年7月分）**  
～ベトナムの食品市場、輸入状況、再輸出動向～

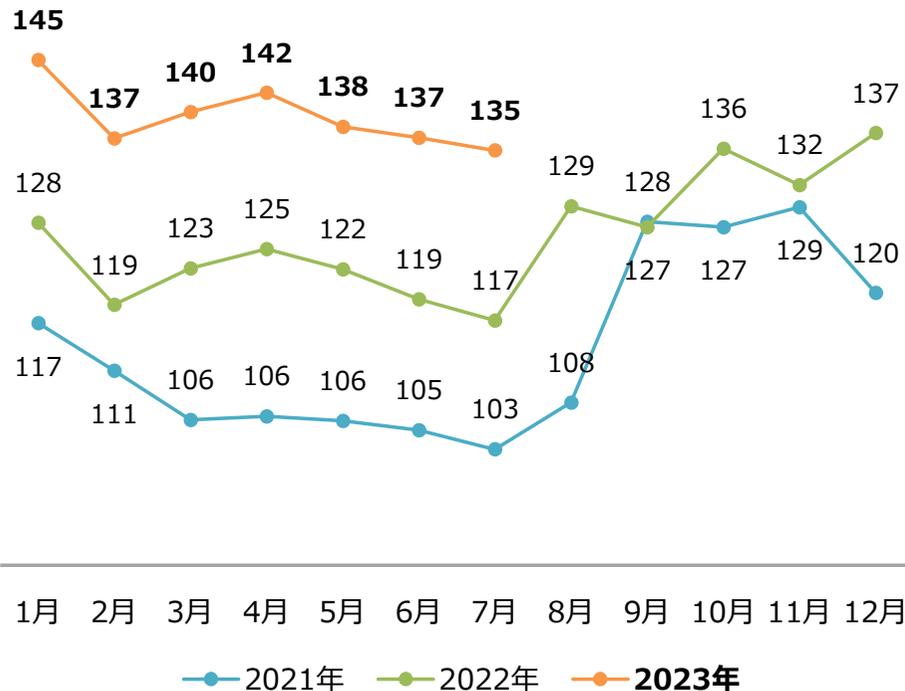
**B&Company Vietnam Co., Ltd.**

2023年8月

# 1. 食品市場の概要

食品小売の売上高は今夏も昨年同様の減少傾向が見られるが、昨年、一昨年と比べて需要の水準は依然として高い

ベトナムの食品小売の売上高（兆VND）



- 2023年7月の売上高は前年同期比11.1%増加の約135.4兆VNDとなった

主要品目のCPI（2023年7月）

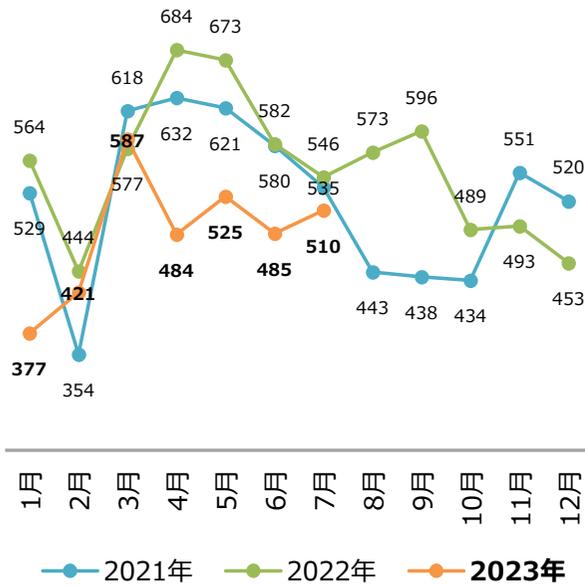
分類	品目	前月比
肉、水産物	豚肉	+2.70
	家禽類	+0.75
	水産加工品	+0.21
	水産物	+0.14
飲料	エナジードリンク	+0.56
	ジュース	+0.30
	アルコール	+0.25
調味料、香辛料	砂糖、蜂蜜	+0.80
	魚醤、ディップソース	+0.43

- 2023年7月は「肉、魚介類」、「調味料、香辛料」、「飲料」の需要が高く、価格の上昇がそれを示している

## 2. 主要品目の輸入状況

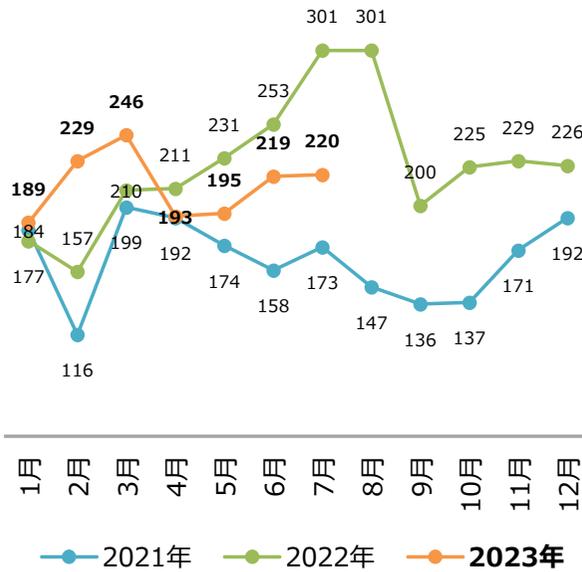
「繊維、衣料、皮革、靴の原料」、「水産物」、「木材、木材製品」の2023年の輸入額は、需要とビジネス環境の弱さ、国内生産と輸出の緩やかな改善を背景に低水準にとどまったが、ここ数か月は明るい兆しを見せている

繊維、衣料、皮革、靴の原料の輸入額  
(百万USD)



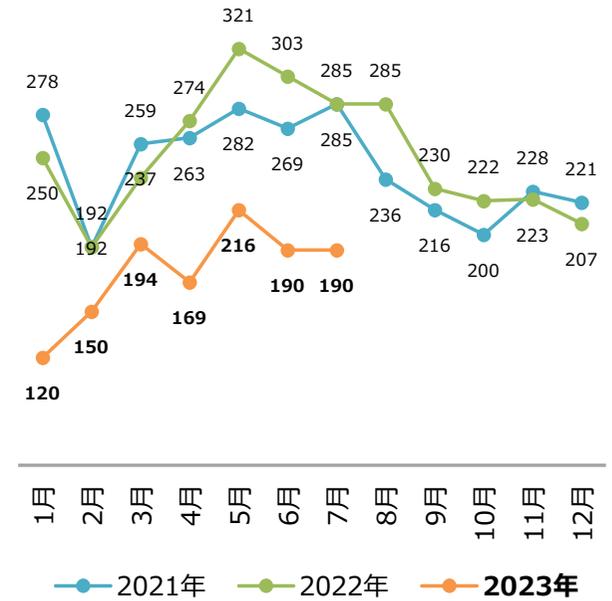
- 受注不足、ローン金利の上昇、貿易救済措置調査などにより、輸入額は過去2年に比べて低下した
- 2023年7月は国内生産と輸出の改善により、前月比約5%増加となった

水産物の輸入額  
(百万USD)



- 2023年4～5月に大きく落ち込んだが、その後状況は改善傾向にある
- その要因として、政府による支援政策、再輸出の増加傾向（詳細は次頁）が挙げられる

木材、木材製品の輸入額  
(百万USD)



- 原料が直面したのと同じ要因により、2022年5月のピークから2023年1月のボトムまでの落ち込みが激しい（約60%減少）
- 2023年7月の輸入額は2023年1月に比べて約1.5倍に増加している

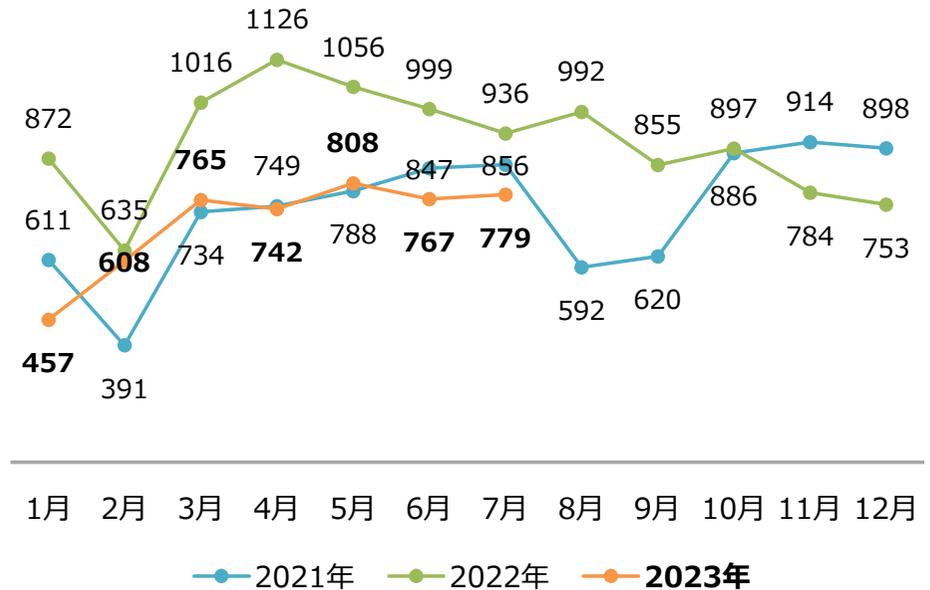
# 3. 水産物の再輸出動向①：輸出業者の苦難

ベトナムを含む世界経済の困難、特に需要の低迷により、ベトナムの水産物の輸出額も前年同期比で減少している

## ベトナムの水産物の輸出業者の苦難の要因

- **需要の低迷**：世界経済の回復が遅れているため、欧米などの輸出市場の需要が依然として低い
- **貿易救済措置調査\*1**：ベトナム商工省（[MOIT](#)）の報告によると、水産物分野は主に米国からの貿易救済措置調査による圧力に引き続き直面している
- **2017年にEUがベトナムのIUU漁業\*2への対処が不十分であるとしてベトナムの水産物にイエローカードを適用した影響**：ベトナム農業農村開発省（[MARD](#)）の漁業検査局長（Mr. Nguyen Quang Hung）によると、「2022年と2023年にはベトナムからEUへの輸出水産物の多くが原産地を証明できないために返戻された」とのこと
- **その他（ローン金利の高さ、輸入代金の支払いにかかる費用など）の困難**：ローン金利（4.5～5%）が2022年半ばに比べて約2倍に上昇していると言われており、企業が原料を輸入するためのローン（ドル建て）を組み込むことが難しくなっている

## ベトナムの水産物の輸出額（百万USD）



- この5か月間で輸出にはポジティブな兆候がいくつか見られ、需要の不足を示しているようだったが、総輸出量が大きく増加する明確な傾向は見られなかった
- 2023年上半期の水産物の累計輸出量は約49億USDとなり、前年同期（約66億USD）比約27%減少となった

\*1 国内産業を保護するために輸入品に適用されるアンチダンピング措置、セーフガード措置、反補助金措置を含む

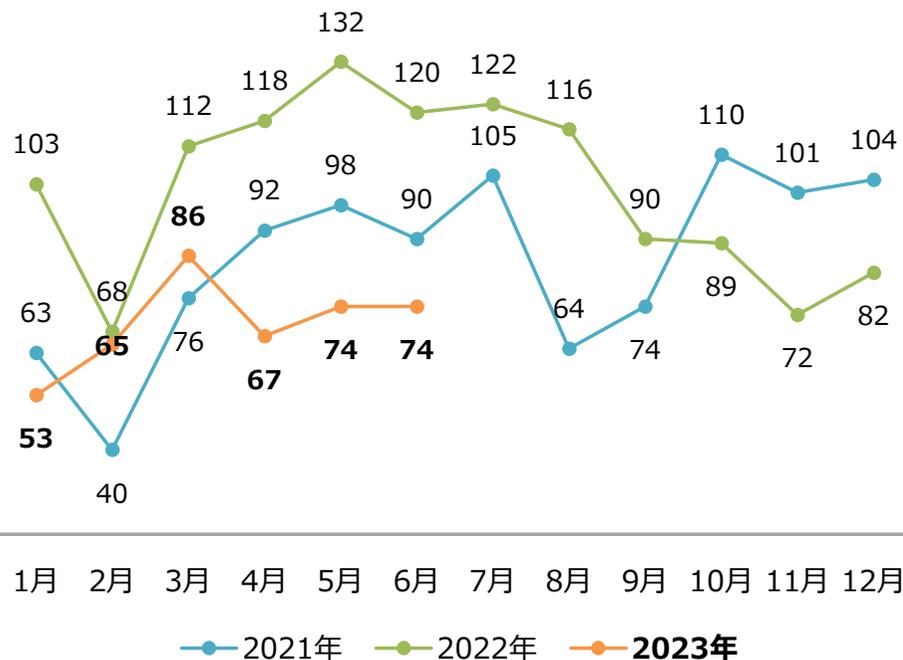
\*2 「違法」、「無報告」、「無規制」に行なわれている漁業のこと

資料：ベトナム商工省（[MOIT](#)）、ベトナム統計総局（[GSO](#)）

### 3. 水産物の再輸出動向②：欧米への輸出

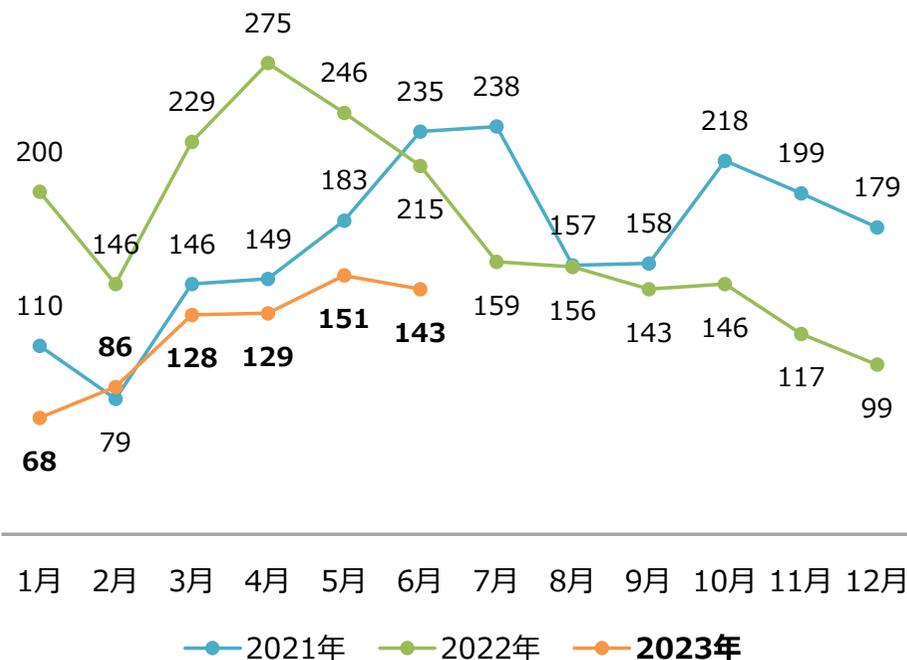
2023年上半期の水産物の累計輸出額は、対EUが前年同期比46%減少の約7,058億USD、対米国が同36%減少の約4,179億USDとなった

EUへの水産物の輸出額（百万USD）



- 2023年4月以降、EUへの水産物の輸出額は2021年、2022年どちらも下回っている

米国への水産物の輸出額（百万USD）



- 増加傾向にあるものの、2023年の米国への水産物の輸出額も過去2年の同時期を下回っている

# 3. 水産物の再輸出動向③：原料の国内供給の減少

価格下落以降、養殖の減少により、国内の水産原料の供給が減少している

これは2022年第4四半期からの国内供給の過剰に起因する輸出状況の苦境によるものである

## 原料の国内供給の減少

- ベトナム商工会議所（[VCCI](#)）の報告によると、水産物の生産に必要な原料（生エビなど）の供給は需要の20～40%しか満たしていない



- [Minh Phu Fishery](#)のディレクター（Mr. Le Van Quang）によると、「原料の生エビの価格が安く、多くの人が生エビの飼育をやめたため、生産量は30～50%減少している」ようだ
- ソクチャン省（メコンデルタ地域）の水産局の局長（Ms. Quach Thi Thanh Binh）によると、「ここ数日生エビの価格が大幅に下落し続けている\*1」ようだ
- 現在、養殖池で販売されている白エビの価格はわずか60,000VND/kg（100匹/kg）と前年同期比45,000VND/kg以上下落している

## その他の輸出業者の場合

会社名	関連状況
Ngoc Thuy Seafood Co., Ltd.	• 以前は毎月数本のコンテナを輸出していたが、現在は原料不足のため、ここ数か月は1本も輸出していない
Nam Cuong Seafood Processing Facility	• 2023年のニシンの輸出量は原料不足のため、2022年（約50トン以上）の3分の1以下となった
<a href="#">Ba Ria-Vung Tau Seafood Import-Export Processing JSC</a>	• 「水産原料の国内調達は当社の需要の10～15%に過ぎない」とのこと

\*1 輸入を促進し、国産水産原料の減少を補うための自給に努めている（詳細はP9）ため、価格は上昇していない

資料：[Tuoi Tre](#)（ベトナム共産党のホーチミン共産青年団ホーチミン市支部の機関紙）、[Ba Ria Vung Tau News](#)、ベトナム商工会議所（[VCCI](#)）

# 3. 水産物の再輸出動向④：再輸出の状況

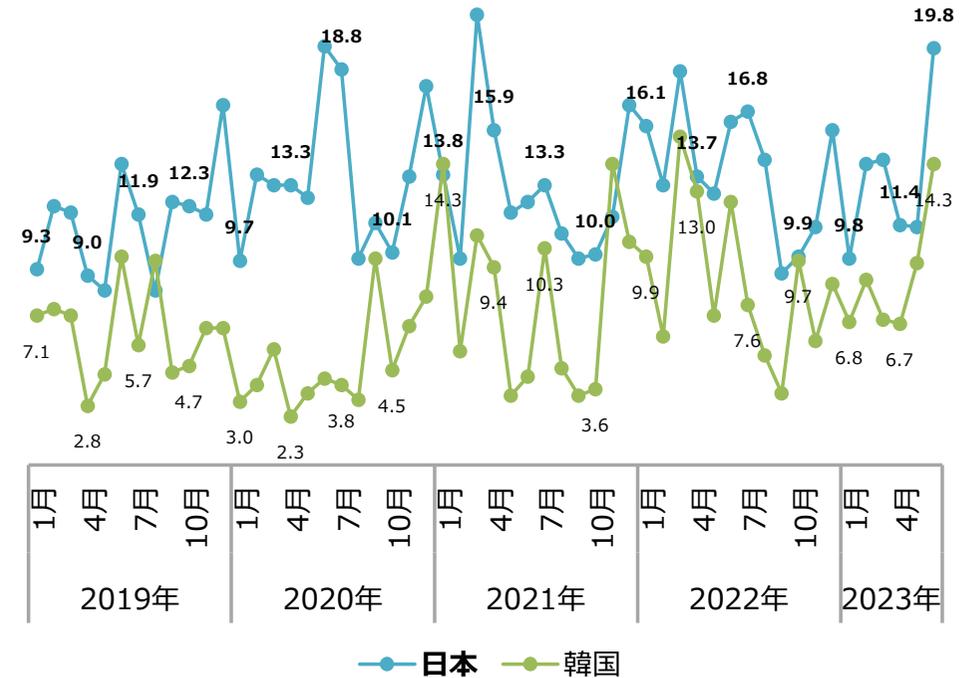
国内の供給不足とFTAの利点により、水産物の輸出業者は輸入、加工、再輸出による供給源の確保に向けて調整している

## ベトナムの輸入関税

自由貿易協定	パートナー	～2022年	2023年～*1
EVFTA	EU	0～6.2%	0%
AJCEP	日本	0～3%	0%
AKFTA	韓国	0%	0%

- 2022年以降、水産原料を輸入、加工してEU、米国、日本、韓国などに再輸出する傾向が見られる
- ベトナム水産加工輸出業者協会（[VASEP](#)）のコミュニケーションディレクター（Ms. Le Hang）によると、「ベトナムが国内原料の不足に直面しているなか、FTAは生産に必要な原料資源を積極的に確保するのに役立つ」とのこと
- FTAの原産地規則では「加工や輸出に使用される原料は原産地（国内産）または域内原産地（加盟国からの原料）である」ことが義務付けられており、これがベトナムの再輸出の状況の前提ともなっている

## 水産物の輸入額（百万USD）



- 2022年下半期と比べると2023年上半期は増加傾向にある
- 過去5年間を見ても2023年は大きく伸びていないため、継続して状況を観察していく必要がある

\*1 EU、韓国は2023年1月1日から、日本は2023年4月1日から

資料：ITPC、ベトナム統計総局（GSO）

# 3. 水産物の再輸出動向⑤：ケーススタディ

Basefoodでは国産原料不足の問題を解決するべく、世界各国からの輸入品の調達先を拡大している

## 会社概要



- 会社名：Ba Ria Vung Tau Seafood Processing & Import Export JSC ([Basefood](#))
- 設立年：1997年
- 事業内容：水産加工（国外輸出90%、国内消費10%）
- 取扱品目：エビ、各種魚、すり身、カニ、タコ、イカなど
- 取扱量：～9,000トン/年
- 輸出額：3,000～4,000万USD/年

## 輸入状況

- 2023年にインド、チリ、スペイン、ノルウェー、豪州、ニュージーランドなどからの輸入を拡大
- 最近では日本からの原料の輸入も増加

## 加工、輸出状況

- 社長兼ゼネラルディレクター（Mr. Tran Van Dung）によると、「バリューチェーンに参加する、また顧客の嗜好を把握するべく世界の多くのシーフードフェアに参加するなどしてきた」ようだ
- 原料が不足しているため、「原料が豊富なときに内臓を取り除いて冷凍して中国に輸出する」のではなく、「徹底的に加工、精製して日本、欧米などの嗜好性の高い市場に輸出する」という戦略に変更した
- 徹底的な加工と精製という新たな戦略は輸出時に従来の生加工に比べて最大約3.5倍の収益をもたらすとされている
- 最近では日本からの原料を使用し、高齢者、病人、子供向けの高級品に精製、加工し、再輸出している

# 3. 水産物の再輸出動向⑥：輸出業者の収益増加

2023年末に向けて輸出状況に明るい兆しが見込まれることから原料輸入の増加が予測されている

## 有利な要因

- ベトナムの主要な輸出市場は2023年末までにさらにポジティブになると予想されている
  - ✓ インフレに冷え込みの兆し
  - ✓ 消費者の需要の改善
  - ✓ 在庫の減少傾向
  - ✓ 年末年始の需要の高まり
- 水産物のサプライチェーン企業は資本、生産、事業条件の面で適宜支援されている。特にベトナム農業農村開発省 ([MARD](#)) の副大臣 (Mr. Phung Duc Tien) は次のように述べている
  - ✓ 15兆VNDの融資パッケージは需要が高まったときに市場機会を掴み取るべく資材を蓄えるのに役立つ
  - ✓ 政府の指示により民間銀行は金利を引き下げようとしている。企業が購入、保存、加工、輸出する際の効率性が確保される

## 今後の展望

- 有利なシナリオの場合、2023年の残り5か月の水産物の輸出額は40億USD以上となり、年間輸出額は90億USD以上となる見込み（2023年上半期の累計輸出額は約49億USD）
- ベトナム商工会議所 ([VCCI](#)) によると、「2023年第2四半期の初めには加工工場が再び活発に稼動し始め、輸出実績は第3四半期も引き続き改善する見込み」とのこと
- [SSI](#)（証券会社）によると、「多くの困難にもかかわらず水産物の輸出業者は2023年下半期に収益の改善を記録し始めている」ようだ
- 予想される輸出状況：

米国向け	2023年末までの水産物の累計輸出額は前年比40～50%増加する見込み
EU向け	パンガシウスの消費量は改善、安定傾向にある
中国、日本、韓国向け	消費需要は2023年第3四半期末から若干増加

# 3. 水産物の再輸出動向⑦：今後の見通し

輸送コストの低下や水産加工コストの削減努力などにより、輸出状況も良好なようだ

## 低価格な輸送コスト

- コロナ禍の流行期に比べて水上輸送コストは依然として低い
- 2023年下半期には水産物の輸出額が増加すると予想される
  - ✓ 海上輸送コストは2021年9月にピークを迎えた後、調整の兆しが見え始め、特に2022年下半期で大幅に下落し、2023年上半期もさらに下落し続けた
  - ✓ 2023年後半は新造船の引き渡しが120隻と多い。貨物輸送の需要が低迷するなか、船隊運航を確保するため、輸送会社は運賃の引き下げを継続すると予想される



## 水産加工コストの削減に向けた取り組み

- 多くの輸出業者は外部から購入するより低コストとなるよう水産加工を部分的に自社で行うことに注力している

会社名	取り組み状況
<a href="#">Camimex Group</a> <a href="#">JSC</a> 	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現在：エビの原料自給率を高め、外部からの購入より15～20%安くしている</li><li>• 将来：環境に優しいハイテクなエビの養殖面積を20,000haに拡大し、2025年までに投入原料の20～30%を段階的に自己管理していく</li></ul>
<a href="#">Minh Phu Seafood Corporation</a> 	<ul style="list-style-type: none"><li>• 原料の10%を自給自足し、残りの90%を外部から購入する必要がある</li><li>• 国産のエビを高価格で購入すると、インド産やエクアドル産に比べて競争力が低下するため、2023年4月から初めて購入価格の引き下げを余儀なくされた</li></ul>